

外国の見方を変えた



藍住東中学校 田邊 丈一郎

オーストラリア研修は、僕の外国への見方を変える大きな経験でした。初めてのことばかりで不安もありましたが、一生忘れない思い出がたくさんできました。

最初は早い英語に慣れず、短い文で答えることしかできませんでした。でも、オーストラリア人は、とてもフレンドリーで優しくかったです。分からなかった時に顔を横に振ると理解できていないと気付いてくれて、また違う質問をしてくれたのでうれしかったです。たとえ間違っているとしても伝えようと努力することが大切だと思いました。

ホストファミリーは、7歳の男子と11歳の女子の4人家族でした。とても暖かい家族で、すごく楽しかったです。お土産に文房具や折り紙を持って行くと、とても喜んでくれました。特に折り紙は、折り方を教えると、子どもたちやお父さんまで夢中で遊んでくれました。



一番驚いたのは学校の違いです。オーストラリアでは、パソコンを1人、1台を持って授業をしていました。生徒は、とても元気であいさつをしてかっこよかったです。そして、自分の意見をしっかり持っていて、アイコンタクトもとっていました。

オーストラリアには、モーニングティーという独特の文化があり、10時50分ぐらいからお菓子などを食べてもいい時間があります。その時に話やバスケットボールをして過ごしました。日本にはない文化なので、驚きました。日本でもモーニングティーという時間があれば良いと思いました。ランチタイムの時は、日本のキャラ弁などなく、小さいリンゴとヨーグルト、フルーツと飲み物に水という簡単な弁当でした。日本とは、全く違う文化だったので本当に驚きました。

10日間、行って自分の英語の発音が全然違う事に気付きました。ぼくは、ホストファミリーと同じように発音しているつもりでしたが、英語のイントネーションの違いで相手に伝わらないことに衝撃を受けました。生活するうえで欠かせない、コミュニケーションをとるための簡単な言葉さえうまく伝わらないのはショックでした。

学校のテストでは、筆記の問題や英語の文の読解の問題が多いです。これからは、聞くことや話すことも勉強していきたいです。英語の歌などを聴いたり、歌ってみたりもしたいと思います。もし、外国人が日本に旅行に来たりする時は僕たちのような子どもでも、英語を使ってコミュニケーションをとる必要があるので、英語を使いこなせるようにしておきたいです。

この研修で、「またオーストラリアに行きたい」と思いました。本当に最初は不安がありましたが、今は自信に変わりました。沢山貴重な経験をしました。学んだ事を将来に活かせるように頑張っていきます。

